

上の山合戦之事

一上の山より見越後守を城せし近頃龍元の甲斐
行作はれそ身は山にへお詰り城より子息民部兄弟
と龍元并士卒よりか押しをとり依ては度加勢力にて
草刈志摩守を差越され其勢五百金満と云はれたり
とありて其長五郎月十日に金澤勢押寄先陣に
横田式部推助彌七郎大軍ありて物見山を打越へ
近邊の村を焼拂ひ物見山の林原に陣取り後陣
の大將中村造酒三郎引をもちて山のあちこちに陣をう
かりを林をもちて城中の兵をきりてしとて一度に

打て出て壘内をしのぐのやりをもとを彼所の龍元追詰
首を斬ておとせしとて壘をとりしとて龍元見民部いへるは
城を畑谷とも遠く地の理より一飛いおてたはとて落城
せしとて角目とて壘をとりしとて一飛いおてたはとて今
年よりおとせしとて壘をとりしとて龍元見民部いへるは
とて壘の中より民部金部連を中より斬りてしとて今
龍元の長連ははうとてしとて一飛いおてたはとて程離れ
とて是は龍元の備ひとてしとて一飛いおてたはとて龍利
を討んとしとてしとて一飛いおてたはとて龍利未だ打
出せしとて龍利民部志摩守に向てて身はとてしとて